

# 協会だより



「秩父神社奉納花火」 写真提供：秩父観光協会  
新型コロナウイルスの早期収束などを祈願して、約2,200発の奉納花火が打ち上げられました。

【令和2年度 全国統一防火標語】

**「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」**

【令和2年度 危険物安全週間推進標語】

**「訓練で 確かな信頼 積み重ね」**

# 年 頭 挨拶



秩父防火安全協会 会長 宮 前 隆 一

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、当協会の事業に対しご理解、ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。さて、新型コロナウイルスは未だ猛威を振るい、国は感染の拡大を防ぐため緊急事態宣言を発出する事態となりました。

秩父防火安全協会も、本来であれば初めての総会を開催し、会員皆様に各議案について審議していただくところでしたが、今回は書面会議という異例な形での開催となりました。また、このような中で評議員の皆様の信任をいただき、令和2年度から秩父防火安全協会会長に就任することとなりました。新たに副会長は山口能弘氏に就任いただき、小池文喜前会長へ顧問をお願いいたしました。微力ではございますが、新役員一同、全力を尽くして邁進してまいりたいと存じます。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当協会の事業ですが、新型コロナウイルス感染症拡大により、主な事業は中止となりましたが、甲種防火管理新規講習会は定員を20名とし、3回実施することができました。消防本部の皆様のご負担は、さぞかし大変であったことでしょう。

今後も、消防本部と連携し、住民への防火思想の普及を図るとともに、地域の安心、安全に貢献してまいりたいと存じます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の収束と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



秩父防火安全協会顧問  
秩父消防本部消防長 町 田 進

令和3年の新春を迎え、謹んで新年の挨拶を申し上げます。

秩父防火安全協会の会員の皆様には平素より秩父地域の火災予防及び防火思想の普及推進に大きな貢献をして戴いておりますことに感謝いたします。

また、去年は瞬く間に世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症により社会が大きく変化した一年でもあり、会員の皆様におかれましては、日々不安や緊張そして不慣れた生活をお過ごししていることとお察しいたします。消防本部といたしましても、新しい生活様式の中での新しい業務のあり方を模索しているところでございます。

さて、近年の自然災害は台風や大雨等により、大規模・多発化する傾向にあります。いつ災害に見舞われるか予想が出来ない災害傾向の中で、消防本部としても皆様の安心安全のために職員共々精進してまいります。より一層のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、コロナ禍によるこの困難な時代を秩父防火安全協会会員の皆様をはじめ、地域住民の皆様と共に乗り越え、新しい一年が皆様方のご活躍とご繁栄の礎になる一年となることをご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

# 令和2年度 定例総会

会則を改正したことにより、初めての総会となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の定例総会は6月15日付けの書面の会議となりました。書面会議では、5議案について原案のとおり承認、可決されました。

総会を開催できたのは、評議委員会の皆様のご尽力だと感謝申し上げます。

また、定例評議委員会の席で開催していました、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会及び秩父防火安全協会会長表彰式については、事務局員が訪問し表彰状を伝達させていただきました。

## 表彰受賞者（順不同・敬称略）

### 公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会表彰

#### ★ 優良危険物事業所

・株式会社 村田運輸

#### ★ 優良危険物取扱者

・浅見万三（丸萬商店）

#### ★ 優良普及啓発活動

・リョータイト輸送 株式会社

・栗原瓦店

・株式会社 司塗装工業

### 秩父防火安全協会表彰

#### ★ 優良防火管理者

・相馬健一（埼玉トヨタ自動車株式会社秩父支店）



総会に向けて開催された、正副会長会議の様子



小池前会長は、埼玉県危険物安全協会連合会の理事として貢献されたため牧事務局長から感謝状を授与されました。

## 提出議案

- ・第1号議案 役員の改選（案）について
- ・第2号議案 令和元年度事業報告及び令和元年度収支決算について
- ・第3号議案 令和元年度基本財産積立金の取崩（案）について
- ・第4号議案 令和2年度事業計画（案）及び令和2年度収支予算（案）について
- ・第5号議案 秩父防火安全協会会則及び施行細則の改正について

## 【役員紹介】

- ・会長 宮前隆一（秩父ガス株）
- ・副会長 富田光彦（(有)小林石油店）
- 副会長 皆川倫治（株オブナス）
- 副会長 山口能弘（株山口組）

第3号議案のとおり、令和2年度は基本財産積立金の取崩などを行い、事業縮小の中実施してまいりました。年度末には、令和3年度納入会費（案）を提案させていただきますので、ご検討をお願いいたします。

## 甲種防火管理新規講習会開催

この講習は秩父防火安全協会主催で開催しているものです。

コロナ禍のため、例年定員が80名だったところを、20名とし3回に分けて実施いたしました。受講申込みもFAXなどを活用して、なるべく接触機会を減らす取り組みにより、無事58名の受講者全員が修了証を取得することができました。

受講者からは、「1机に1人と間隔を空けていただいたので、安心して受講できました。」との好評の意見もいただきましたので、来年度も数回に分けて感染症対策を万全とし実施する予定です。

詳細は秩父広域市町村圏組合・秩父消防本部ホームページに新年度掲載いたします。ご不明な点は、秩父消防本部予防課までお問合せください。



秩父消防本部予防課 電話 0494-21-0121 ホームページ <https://www.c-kouiki.jp/cfd/>

## 甲種防火管理再講習会開催（予定）

令和3年2月25日に開催を予定しています。1月末日現在15名の受講申し込みがありました。

受講対象者は、不特定多数の人が出入りする収容人員300名以上の店舗や、旅館等の防火管理者です。この講習は、5年以内に1回の受講義務があり、過去5年間における防火管理に関する法令の改正等に係る知識、技能の習得を目的として行われ、おおむね2時間の講習です。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から、飛沫防止用のシートの設置が増えているところですが、それに関連した火災が発生しています。ビニール製やナイロン製など、飛沫防止用シートの材質によっては着火・燃焼しやすいものがあるため、特に以下の6点に注意しましょう。

- ① 火気や熱を発する危機から距離をとる
- ② 正常な動作の妨げにならぬよう、火災感知器やスプリンクラーの近くに設置しない
- ③ 火災の際に避難の支障にならぬよう、誘導灯を隠さない、避難経路に設置しない
- ④ 火災リスクを減らすため、飛沫防止に必要な分を設置する
- ⑤ 難燃・不燃性のあるもの、防災品など燃えにくい材質のものを選ぶ
- ⑥ フィルム状より燃え広がりにくい板状のものを選ぶ

新型コロナウイルス感染防止対策とあわせて、火災予防対策にも努めましょう。

（「No.72 危険物と保安」（一社）全国危険物安全協会発行から転載）

## 危険物事事故事例

保安教育の徹底を！



全国で発生した危険物事故の事例を掲載します。秩父消防管轄内で発生したものではありません。

(「№72 危険物と保安」(一社) 全国危険物安全協会発行から転載)

### <事例1>

#### 除雪機の接触により破損した屋外露出配管から重油の流出

製造所等の区分 屋外タンク貯蔵所

##### 被害状況

- ・屋外露出配管の破損
- ・第4類第3石油類(非水溶性)重油約5,000Lが河川へ流出(漏えい発生地点から河川流出地点まで直線距離1,400m、河川流出地点から流出距離4,270m)
- ・敷地内及び隣接公民館境界部の土壌汚染

##### 事故概要

従業員が除雪機で除雪作業をしていたところ、屋外タンク貯蔵所に接続されている屋外露出配管を破損し、敷地及び河川に重油約5,000Lが流出した。なお、吸着マット及びオイルフェンス設置により応急措置を実施した。

##### 事故原因

- ・破損
- ・操作確認不十分

##### 事故分析

除雪作業時、露出配管に対する安全確認を怠ったことにより、除雪機が接触して破損した。

##### 事故対策

- ・破損防止のため、事故発生場所の配管上部に金属製力バーを設置し、消防機関の検査を受けた。
- ・降雪期における事故発生防止対策の指導。また、在庫管理において異常が確認された場合の対処方法や事故発生時の初動対応について、従業員等への周知徹底。
- ・河川への流出防止策は、自治体の指導のもと継続。
- ・訓練計画書及び防災マニュアルに基づき、全従業員に対して保安教育訓練の実施。

### <事例2>

#### 走行中の危険物運搬車両の荷崩れによる運搬容器からの塗料の流出

製造所等の区分 危険物運搬中

##### 被害状況

- ・第4類第1石油類(非水溶性)船舶用塗料18Lが、道路上へ1.8m×2.4mの範囲に流出
- ・道路上へ落下した運搬容器14缶中1缶の破損

##### 事故概要

数種類の塗料用運搬容器110缶を荷台に2段積みで積載し、配送前の乗務前点検を受けずに未固定のまま配送を開始。運搬車両が交差点を左折した際に遠心力によって14缶が道路上へ流出。運転手は、営業所へ連絡した後、他の従業員からの指示で119番通報を行った。道路の事故連絡を受けた営業所所長は、流出対策のため他の従業員とともに新聞紙等で回収作業を行った。なお、すべて新品の運搬容器を使用していた。

##### 事故原因

- ・操作未実施

##### 事故分析

荷台の前方に、18Lと2Lの容器がビニールバンドによって1つにまとめられ、さらに40缶ずつラップ巻きされていたものが2段積みで積載。その後方には、18Lの容器が20缶、その上に18Lの容器を10缶積載し、それぞれラップ巻きのうえ積載されていた。運転手はラップ巻きされていることから、2段積みであれば固定せずとも荷崩れは起こらないと考えた。また、忙しさから、配送前の乗務前点検を受けずに配送を開始した。

##### 事故対策

- ・荷物の固定・落下防止等、乗務前点検の完全実施。
- ・荷物の固定、トラックの特性等の危険物配送教育が完了していない従業員の乗務禁止。
- ・危険物配送は、原則、箱車を使用。道路状況により平車を使用する場合は従業員の限定。
- ・外部講師等による危険物の勉強会の開催。
- ・運転手、事務員等に対して、事故を教材にした朝礼、教育の実施、自社安全マニュアルの徹底。

# お知らせ

## 住宅用火災警報器を設置しましょう。 (電池の交換は10年が目安です。)

住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置対策については、平成23年に決定された基本方針に基づき推進してまいりました。住宅火災による死者数は、平成17年をピークに減少しており、住警器の普及が大きな要因であると考えられます。

しかし、秩父消防管内の住警器の設置率は低く、条例適合率は最低ランクで推移しています。一方で、住警器の作動確認を行った世帯の約2%で住警器の故障や電池切れなどが確認されており、設置した住警器が交換期限を迎えております。

条例で示している設置個所は次のとおりですので、さらなる火災予防にご協力をお願いします。



資料提供先：一般社団法人 日本火災報知機工業会

## 防火DVDをご利用ください。

秩父防火安全協会では、教養DVDを貸出しています。

幼稚園や小学校でも好評の幼児向けの火災予防DVDや、危険物関係、防火管理関係等全60タイトルを揃えています。事業所における自衛消防訓練や、社員教育にぜひご活用ください。

借用申請書に必要な事項を記入し、消防本部予防課又は消防署・分署に申請してください。タイトル・借用申請書はホームページに掲載しています。また、消防署・分署でもご用意しておりますので是非ご利用ください。



## 2022年までに新規格の消火器への交換が必要です。

消火器の破裂事故を防止し、安全性を高めるため消火器に関する法令が改正されました。

これにより、消火器の設置が義務付けられている建物に設置されている旧規格の消火器は2021年12月31日までに新規格の消火器に交換が必要となります。

計画的な交換をお願いします。



適応火災の表示の○●●を  
チェックしてください。



## 電気自動車を充電する急速充電設備の設置届出が必要となります。

電気自動車の普及により、急速充電設備の高出力化が必要であることから、火災予防上の安全を確保した上で、安心して充電できるように秩父広域市町村圏火災予防条例の一部が改正されました。主な改正内容は、次のとおりです。

- 1 施行日は令和3年4月1日からです。(既に設置、設置工事中のものは適用されません。)
- 2 急速充電設備の全出力の上限が200キロワットまで拡大されました。
- 3 急速充電設備の位置、構造及び管理に関する基準の細目が改正されました。
- 4 急速充電設備(全出力50キロワット以下のものを除く。)は、消防(分)署への設置の届出が必要です。

詳しい基準等については、消防本部予防課へお問合せください。

問合せ先：秩父消防本部予防課

電話：21-0121



小鹿野町内に設置した急速充電設備



写真提供：新電元工業株式会社

## 家庭ごみの焼却は絶対やめましょう

### 秩父広域管内における火災状況

	たき火 焼却・裸火	電 気 車 両	燃焼機器 (ガス・石油)	火 花 摩 擦	放 火 放火の疑い	たばこ	落 雷	その他 不 明	合 計
令和元年	12	12	4	4	2	2	1	4	41
令和2年	10	11	4	0	2	1	2	4	34

令和2年は、秩父広域消防発足以来、最小となりました。しかし、たき火・焼却・裸火など気をつければ防げる火災もあります。家庭で出る生活ごみを燃やすことは禁止されています。

また、一般家庭用のガステーブルなどは安全装置の充実から減少しているのに対して、業務用の器具からの出火が増えています。これは、業務用はプロが使用することから安全装置がないものがあるため、協会の皆様の厨房なども一度点検をお願いいたします。

## 救急車を上手に利用しましょう

### 秩父広域管内における救急状況

	急 病	一般負傷	転院搬送	交 通	その他
令和元年 4,588件	2,827件	662件	599件	318件	182件
令和2年 4,214件	2,523件	712件	540件	275件	164件

救急出動件数は平成30年の過去最高から減少しています。救急種別の割合に大きな変更はありません。出動要請の中には、「夜間・休日の病院が分からない」、「救急車なら優先的に診てもらえると思った」など、緊急性がないと思われるものが見受けられます。こうした救急車の利用が増えると、救急隊の現場までの到着時間が遅くなり、救命活動の開始が遅れる恐れがあります。

救える命を守るため、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。



当協会の目的は、危険物に関する安全の確保及び防火対象物の火災予防と消防関係法令の普及を図るとともに、会員相互の融和親睦、会員各事業所の振興発展及び社会公共の安全に寄与することです。

賛同いただけるお知り合いの事業所様がございましたら、ご紹介をお願いいたします。

### 編集後記

初めての総会是对面式で出来ず、視察研修や賀詞交歓会も中止となり、緊急事態宣言が発出された令和2年度ですが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

令和3年度は、明るく例年行っています事業ができればいいなと思います。

